

博士前期課程(修士) / 共通科目 / 共通科目
科目コード:200009

看護福祉政策論 Nursing and Social Welfare Politics and Policy

担当教員	米澤洋美、三部倫子、木田亮平、				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords					
学習目的・目標	《学習目的》 保健・医療・福祉政策および看護政策の現状と課題に対して、地域、企業、NPO、家族、ボランティアなど多様な社会集団の相互作用の中で、人びとの健康生活、地域社会に貢献する看護の政策的働きかけの方法を教授する。 《学習目標》 1. 保健・医療・福祉政策および看護政策の現状と課題を理解する。 2. 我が国の保健・医療・福祉政策および看護政策における看護職の役割・機能について検討する。 3. 看護職として法律・制度・組織を活用する方法、情報収集と分析、課題の明確化と立案、政策の提言、立法化までの政策形成過程について修得する。 4. 地域、企業、NPO、家族、ボランティアなど多様な社会集団の相互作用を活かした、看護の政策的働きかけの方法を理解する。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	オリエンテーション			講義	米澤
2	我が国の社会保障制度の概要			講義	三部
3	我が国の社会保障制度と政策過程			講義	三部
4	母子保健福祉政策と看護の政策的働きかけ			講義	金子
5	成人保健福祉政策と看護の政策的働きかけ			講義	米澤
6	高齢者保健福祉政策と看護の政策的働きかけ			講義	米澤
7	障がい者保健福祉政策と看護の政策的働きかけ			講義	米澤
8	災害保健福祉活動と看護の政策的働きかけ			講義	木田
9～14	3～8回で学んだ看護福祉政策を実践する現場へ外向き、実践現場の見学や職員との意見交換により体験的に学ぶ。訪問する現場は開講時に提示する選択肢の中から選び、半日を単位として訪問する。 例 高齢者を対象とするNPO法人 障害者相談施設 地域包括支援センター 児童保護施設 看護職能団体 特定行為研修施設 等			演習	米澤
15	看護福祉政策の現状と課題(1)			プレゼン	米澤
16	看護福祉政策の現状と課題(2)			プレゼン	
教科書	見藤隆子他:看護職者のための政策過程入門、日本看護協会出版会、2007 その他文献等、適宜配布する。				
参考図書等	日本看護協会編:日本看護協会の政策提言活動、日本看護協会出版会、2010 Ann McDonald(原著)、杉本敏夫(翻訳):高齢者福祉とソーシャルワーカー現代的な課題、見洋書房、2003 佐藤久夫、小澤 温:障害者福祉の世界 第4版(有斐閣アルマ)、2013				
評価指標	課題発表と討論への参加状況50%、レポート内容50%により、総合的に評価する。				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ	我が国の保健・医療・福祉および看護の制度・政策の理解ばかりでなく、そこでの看護の政策的働きかけをどうしていくのか、どうしていくべきなのかについて検討していきましょう。				